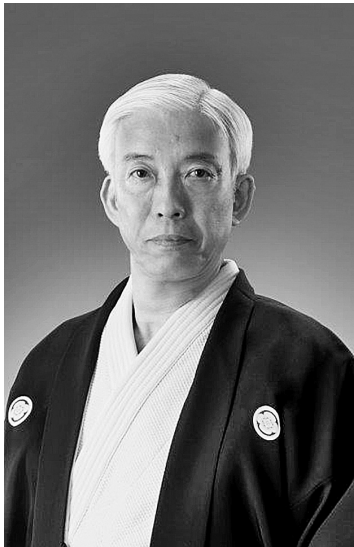


# マスクの中からたくさんの感謝

## 合気道道主 植芝守央



本来、日本は平穏で穏やかな国のはず。しかし、見えない敵のコロナウィルスとの戦いが続いています。日本だけではなく世界中で「・・・しないようご協力ください。・・・してくだされ」というたくさんのお願い。コロナ感染防止・感染拡大防止のために多くの当たり前を奪われていきます。その反面、たくさんの事を当たり前として過ごしてきたことに気付かされたいと思います。例えば、自分が今生きていることや、当たり前のように日常生活を送れていること、行きたいところに好きなように出かけるなど、すべてが当たり前で特別なことと思うことが出来なくなってしまう。高年齢者のリスクが高いと言われている中、自身の年齢をこれほどまでに意識したことはありませんでした。

このような状況下で、どうやって日常生活をのびのびと送れるか、どうやって指示された通りの社会生活

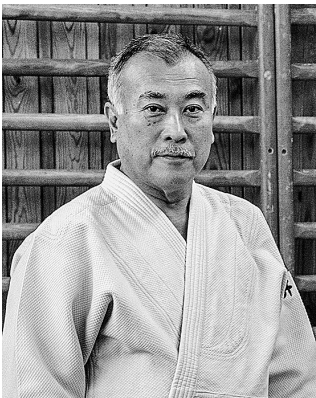
を充実させられるか、どうやって安全に合気道の稽古を続けたいかなどを頭が一杯なのが現状です。しかし、あれも出来ない、これも出来ないという状況は、これとを列挙していても仕方ありません。この環境だからこそできること、今出来ることを精一杯努力して前へと進んでいかなければなりません。緊急事態宣言下で道場を2ヶ月も閉じなければならなかった時を思えば、現在は夢のような時間です。当たり前だった時と比べず、最悪だった時と比べれば心も明るくなります。感染対策を万全にマスク着用で合気道本部道場の稽古を再開したのは6月1日の事でした。最初は非接触での体捌きなどの単独動作での稽古にきこなく、恐る恐ると言った雰囲気があったように思います。それでも現状の稽古に意義を見出して下さりながら、徐々に気持ちもほぐれた雰囲気となり元の道場に戻ってきたのです。そして7月27日から8月5日まで行われた暑



毎月10日発行  
発行所  
東京都新宿区若松町17番18号 (郵便番号162-0056)  
公益財団法人 合気会  
(合気道本部道場)  
編集人 可児 晋  
電話 03 (3203) 9236 (代表)  
FAX 03 (3204) 8145  
購読料  
1ヵ年 2,800円  
郵便振替  
00150-0-49527番  
ご購読は、なるべく上記振替口座をご利用下さい

道歌  
主の至愛  
ひびき庄生まれし  
大宇宙  
御学みぞ  
生れ出でたる

## 国際合気道連盟 理事から現況報告



井澤 敬 国際合気道連盟理事長

2020年は国際合気道連盟にとって4年毎に国際大会を開催する重要な年だった。本年の2月末に合気会調整会議を開催し、その国際大会の最終打ち合わせに取り掛かっていた。まだ、その時期は夏にオリンピック・パラリンピック開催が予定されていた。調整会議で諸々の打ち合わせを行った後で、住んでいるアメリカに戻った。コロナ・ウィルスは、横浜でのダイヤモンド・プリンセス号で問題になったのは2月末だから、その段階ではこの問題がその後大きく発展するようになるとは想像もできなかった。しかし3月終わりには、オリンピック開催が1年延期されることが発表され、それを受けてその直後、国際合気道連盟としても、道主に相談の上、国際大会を延期することを発表した。

今回のコロナ・ウィルス

お詫び  
合気道新聞は、8月号・9月号を合併号とさせていただきます。この場を借りてお詫び申し上げます。

パンデミックは、世界の合気道にどのような大きなインパクトを与えている。4月後半に国際合気道連盟はそのメンバー56カ国に対して緊急アンケート調査をした結果稽古ができなくなっているという状況報告とともに道場の経営が難しくなっているという厳しい報告が多数あった。その後、7月辺りから稽古再開が可能になった一部の

合気道新聞DVD発売  
合気道新聞は昭和34年4月号に第1号を発行して以来、号を重ねてきた。700号を記念して新しくDVD化致しました。  
第1号(昭和34年4月) 第705号(令和元年10月号)  
価格 13,200円(税込)

「維持会員」へのおさそい  
日頃から格別のご理解と厚意を賜りありがとうございます。  
公益財団法人合気会は、開祖植芝盛平翁の創始した合気道の承継を支援し、合気道による心身の錬成と合気道の普及振興を図り、もって体育の発展に寄与することを目的とし、公益事業を行っています。

これからも、その目的を達成するための合気道の一層の普及発展をはかるため「公益財団法人合気会 定款」にもとづく「維持会員」へのお誘いを致しております。

つきましては賛同頂き、ご後援、ご援助を賜ることができましたら幸甚でございます。なにとぞ高配のほどお願い申し上げます。

記

1、会員種別  
(1) 賛助会員 この法人の目的に賛同し、事業を援助するために維持会費として年額1口2万円 1口以上を納める個人および法人又は団体  
(2) 特別会員 この法人の目的に賛同し、この法人を後援維持するために維持会費として年額1口10万円 1口以上を納める個人および法人又は団体  
2、維持会員の特典  
(1) 合気会主催する演武大会等の行事にご招待を申し上げます。  
(2) 合気会が発行する合気道新聞、合気道探求などの出版物を贈呈いたします。

お申し込みは(公財)合気会事務局まで

行政の指導により稽古ができないために一時的に閉鎖に追い込まれたりしている道場は数多くあるため、国際合気道連盟では、各連盟を元気づけるためにも多くのオンライン活動を展開している。ズームによるオンライン各種セミナーは我々にとっても予想外の反響をもたらしている。IAFのページはアップデートが盛んになっており、5月終わりから毎日1万を超えるリーチがあり、1日で8万件のリーチを超えた日も3日ある。

パートナーと接触のある稽古ができないためにオンラインの活動に人が集まり始め、合気道のオンライン・コミュニティがケルプ、所属を超え連帯感が生まれ始めている。合気会本部のある日本以外ではナイヨナルベースでの合気会のまとまりが少なくないがこれまでの傾向とすれば、パンデミックで合気道を愛する人々がオンライン・イベントなどでまとまり始めているのには勇気づけられる。特にフテナメリは、言語を共有することからその傾向は顕著だ。パンデミックは害大きい出来事だが、量の上での稽古ができない代わりに、ウェブで連携が高まり、合気道にとって大きな前向きな変革の始まりとなるだろう。

入身転換  
今年の夏は新型コロナウイルス感染症の再拡大で、多くの方が外出自粛を余儀なくされて例年とは異なるものとなった。コロナに加えて、7月は集中豪雨を伴う梅雨が一ヶ月続いた。8月は梅雨明けと共に連日の猛暑続きとなった。気象庁によると7月の降水量も8月の気温の高さも記録的とのことだ。豪雨の被災地では避難場所の確保にコロナ対策もあり大変な苦勞があったようだ。東京都内では熱中症で亡くなる方が相次ぎ、8月は過去最多となった。9月になると風速70メートルの超大型台風連続の襲来である。日本の南の海面水温の上昇がこれら異常気象の原因のようだ。

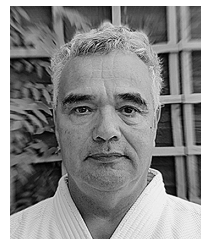
世界ではコロナの感染拡大が依然として続いている。米国のジョンズ・ホプキンス大学で日々発表される感染者の累計は9月4日時点で2600万人を超え、死者も86万人を超えた。特に、米国では拡大が止まらず、感染者は600万人を超え、死者も18万人を超えた。大統領選挙を11月に控えたトランプ政権の経済活動重視が新規感染者の高止まりに繋がっているようだ。しかも、感染者の再拡大は小売業などのサービス産業に活動停滞をもたらしている。米国の先行きが危惧されている。

安倍首相が先月末に突然の辞意表明を行った。自民党の後継総裁の選出で俄かに政局が慌たしくなった。

今月半ばには国会で新しい首相の指名がなされるが、誰が選ばれようか、緊要の課題はコロナ対策である。現状のコロナの脅威は続く限り、経済活動の低迷は免れない。公的債務の増大を恐れず一刻も早くコロナの収束を図る抜本策をとって貰いたいものだ。

(可児 晋)

# 国際合気道連盟 理事から現況報告



ウィルコ・フリーマン  
事務総長(オランダ)

人生で初めてこのようなパンデミックを目の当たりにし、愛する存在を亡くした方々に私は心を痛めています。また私は、今まで経験したことが無い世界的な共感や思いやりの気持ちが再確認されるのを目の当たりにしました。突然、私たちは所謂ソーシャルディスタンスという新しい概念の概念を得ました。この概念は、共感に加えて、互いへのそして自然への愛情と尊重の気持ちをもたらしました。

私は年明けに国際合気道連盟を代表してコンバットゲームスの準備のためにカナダのオランダ、続いて2020年の国際合気道大会の準備のために同連盟理事と共に本部道場を訪問し、そして、ニュージールランドの高瀬信天師館によって催された合気道神流館50周年行事にも参加してきました。その後、ギリギリのところまで飛行機に搭乗し、3月15日よりロックダウンが始まっていたオランダに帰国しました。それから1か月半の間、合気道の稽古をすることができず、ただ自宅で家族と大切な時間を過ごしていました。

道場とオランダ合気道連盟のために合気道の灯火を絶やさないよう、インターネッツを新たな量にして会員、指導者、連盟理事とのコミュニケーションを図っています。道主とご相談したうえで国際合気道大会の延期を決断した後、私の日々の活動は国際合気道連盟と拡大された広報チームのため、重要な活動の維持と合理化に同僚と取り組むことに焦点が移ってまいりました。新しい国際合気道連盟のホームページは合気道との窓口機能を備えて立ち上げられ、私たちは道主のお言葉を国際合気道連盟のメディアを通して世界中に配信することが可能になりました。また、合気道の灯火を国際的に保ち続けるため、Facebookでライブ配信される様々なZoomのクラスが導入されています。この動画では、植芝充央合気道本部道場長をはじめ、国際的、時には地域的に活躍



レイフ・スニエ  
副理事長(スウェーデン)

している男性および女性の指導者により稽古が行われています。オランダでは、5月8日に再び子供たちが道場で稽古ができるようになり、大人はソーシャルディスタンスを保つという制限の中で、屋外での稽古再開が許可されました。7月1日には感染が発生した場合の衛生対策と追跡手順を備える条件で道場の活動再開が許可され、今日まで稽古を継続しています。

私たちは、いつ終わるともわからないコロナ禍の真ただ中にいます。ですが、合気道ファミリーの内に宿した大いなる精神力と国や連盟といった枠組みを超えた連帯感が私の精神と感情を高めてくれています。スウェーデン政府は、ソーシャルディスタンス確保、旅行制限、その他の感染予防措置といった勧告に自国民が従うということに大きな信頼を寄せています。法令により、集会人数は50人までに制限され、高等教育は遠隔教育で行われ、多くの企業が従業員に在宅勤務を命じました。スウェーデン合気道連盟は、スウェーデンスポーツ連盟とスウェーデン公衆衛生局の勧告に従っています。

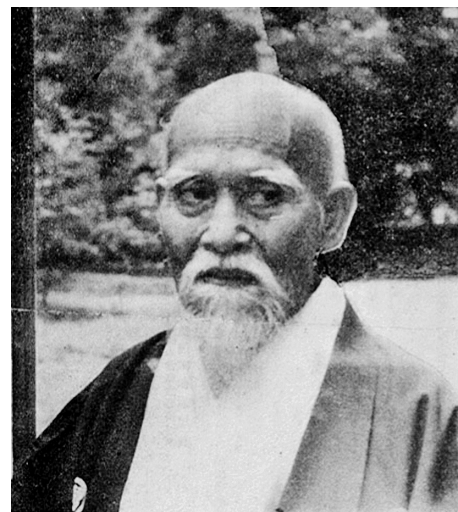
3月中旬に国内道場の圧倒的多数が閉鎖を余儀なくされたものの、多くの人が屋外にて杖と木剣の稽古を行いました。また、いくつかの道場は、クラスをオンラインを通じて行うことにより、自宅から指導と稽古を継続することができました。スウェーデン国内の道場への財務上の影響はまだ不透明なままとなっています。政府はスポーツ団体向けの財政支援プログラムを立ち上げました。全ての合気道家が道場に戻れるようになることを祈るばかりです。

学校生活の1年間で再び始まり、通常であれば稽古の教も同時に始まっているはずですが、道場は不確実な立場に置かれていいます。何をすべきかという決断の自由と責任は各道場に委ねられています。スウェーデンは寒冷地のため、屋外での稽古を継続することは期間限定でしかできません。屋内での稽古の方が望ましいのですが、その安全性は疑問が残ります。

いくつかの道場は、下記の厳格なルールの下で屋内稽古を再開しました。  
・道場内の人数制限  
・稽古中の稽古相手を変更しない  
・衛生面と距離の確保に強く気を配る  
スウェーデン合気道連盟はスウェーデンにおける合気道コミュニティの繋がりを保つことを促進し、懸念をシェアし互いを勇気づけるため、オンラインセッションを主催しています。この状況について全国各地の合気道の仲間たちと話し合うことで、耐え忍ぶことへの力になると信じています。

## 開祖の言葉

〈昭和39年6月号〉  
勇智愛現の御姿は、特の真澄の鏡の御特を現わし、正邪を写し宜くすべてを射照する。そしてミツルギと現われ剣光を放ち、遂には八光の珠を授かる理道となる。八光の珠は仏者の如く如意宝珠汝千、汝満金剛不壊の珠の如く、また天地の呼吸と合し、惟神に住する。ある時は、真澄の鏡と化し、万を写し射照、現幽一如のツルギと化し破戸の神事にも、神習い世を潔め建設の一つの作用をなす。また光は宜く道を教え、真の合気の道となる時は、心眼閉がり力弱



また道は霊武と実相武に分ける。霊武には精神の心と精神の体をつくり、ますます内的に、修行の上は、以上述べたる如き澄みきりし八光の珠を

得、ますます霊果して、光を放つものである珠の延長はツルギ兵法となり進化し、ともに天運順環するわしく物化して、現代の種々の科学に生か

この世の真人をつくりあげるための道である。世の初め宇宙は水火天地を分かち、さらに一霊四魂を以て心をつくりこれを万有に賦与する。地魂は三元と八力を以て体をつくり万有にわかつ、その霊で護るものは体にして体を守るものは霊である。すなわち一霊四魂と水火より生みなせる元素と力を以て、万有の心と体をつくり、万有にわけ、体は霊を護り、霊は魂を養い、魂をいれる善美なる体は理によってつくりあげるものである。古より道々の言に「武は万物の根元なり」とある。

## 合気は万物の根源なり

される。修行の結果は世と和して遂に霊武、実相武は合一のとぎくるものである。修行は天地人合一を以て、まずの目標とするが、しかれども天地と人とは實において同質なるも量において大小異なる。合気は天地自然の道にあり、真、善、美なる世の定めに由り出でたる尊き道である。すなわち、

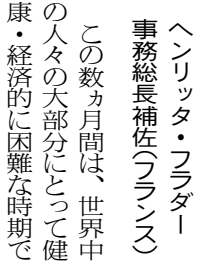
春に新型コロナウイルスが欧州で大流行した際、ルーマニアはこの感染症への対策を順調に始めることができました。ルーマニアでは非常事態宣言下でロックダウンが行われており、感染者や死者の人数も少なかつたのです。しかし、感染症対策が緩和された夏、感染者数に変化が見られませんでした。

新型コロナウイルスをめぐるとは安定せず、国内の道場が活動再開を許されることはありませんでした。道場から離れざるを得ない時間が数日は済まないかと理解し、私たちは脊からオンラインでの稽古を始めました。この特別な稽古は、少年少女や10代の

若者たち、ルーマニア全土の会員たち、そして、RAFの指導者にも向けて実施されました。これらの稽古は、道場や講習会を通じて既に構築されていたつながりを基に構成されており、このパンデミックの時期に私たちが新しいメンバーを迎えることにはありませんでした。最近では、浜辺や屋外での稽古を再開した指導者たちもいます。難しいことかもしれませんが、秋には従来の合気道の活動を道場の中で開始できることを望んでいます。

フランスにおいて合気道はスポーツ省によって管理されています。このコロナ禍で3月中旬から稽古は禁止されていますが、現在ではゆっくりと通常の稽古に戻ってきています。FFAAAはスポーツ省の勧告を遵守し、9月まで全ての連盟の活動を中止しました。しかし、6月1日よりの稽古相手との直接接離を避け相手と物理的な距離をとれる場合、屋外稽古が許可されるようになりました。

合気道を正課に採用している  
日本体育大学 国際武道大学



ヘンリッタ・フラダー  
事務総長補佐(フランス)

この数ヶ月間は、世界中の人々の大部分にとって健康・経済的に困難な時期でした。Covid-19が

個々の道場への影響が注視されています。政府などからの財政支援は道場と指導者を財政的に生き延びさせ得るかもしれませんが、数ヶ月間にわたり会員との繋がりが切り離されている先にある結果は、今日では明示することすら不可能といえます。



# 国際合気道連盟 理事から現況報告



フレデリック・ホイ  
ブルック理事(ベルギー)

ベルギーではパンデミックの影響により3月17日から全ての合気道の稽古が中断されており、主なイベントだけでもなく道場内の稽古も行われていませんでした。政府よりの再び屋内での活動が許可されるまで3か月近くかかりました。しかしそれでも稽古参加者同士の接触は許可されず、稽古参加者の人数制限を含む厳格な安全対策がとられていました。

いくつかの道場はこれらの安全対策下で活動を再開したものの、多くの場合武器の稽古のみとなっており、残る多くの道場はまだ閉鎖されている状態です。7月に入り感染第2波の兆しが見え始めると、新たな感染拡大防止のためのルールと制限が実行され、道場内での稽古が再開されるまで3か月近くかかりました。しかしそれでも稽古参加者同士の接触は許可されず、稽古参加者の人数制限を含む厳格な安全対策がとられていました。

多くの道場は、経済的・経営的な課題にも直面しています。稽古が禁止されているなかでも道場の家賃を支払うべきなのではないでしょうか？ 会員に会費を払い戻すべきなのではないでしょうか？ これらの道場に連盟は何か手を差し伸べることはできないのでしょうか？

今は誰にとっても困難な時代であることは明白です。そして、この困難は、個人的そしてコミュニティの一人としての私たちの性格がどのようなものかよく明らかにしているのです。パンデミックが発生してから最初の数か月の間のベルギーの人々の対応と努力は、感動的で統一感のあるものでした。

それでも、数か月が経過すると社会の覚悟が弱くなり、コロナ禍の状況に関する厳しい議論が始まりました。このような議論は、その是非に関わらず、人々を分断して対立させる危険を帯びています。

世界中の合気道家が、道場稽古ができるかできないかにも関わらず、合気道の教えと価値観を社会に伝え続け、世界を分断する原因がある中でも、合気道は常に結束への道を提示しているという世界へ知らしめることを願っています。



チャールズ・マギニス  
理事(アメリカ合衆国)

この7か月間、新型コロナウイルスのパンデミックは我々の生活に多かれ少なかれ影響を与えました。この記事を書いている時点で米国のCovid-19による死者数は16万人以上なのぼり、その感染は拡大し続けています。連邦政府からは統一的なアプローチはなく、50の州それぞれにパンデミックへの対処が任じられており、合気道コミュニティを含めた組織や国民個人にとつてこの危機を乗り越えることが困難になっています。

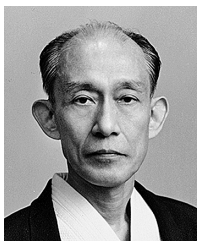
米国の合気道コミュニティでは、数ヶ月にわたって政府指示による道場の強制閉鎖が続いているところもあり、その時期、会員の稽古継続を支援するため、多くの道場はオンラインのクラスを開設しました。6月に入り、少数の地域では人と人が直接会って稽古をすることが許されましたが、多くの場合ソーシャルディスタンスとマスクが義務となっており、稽古は屋外での武器稽古に限られていました。通常稽古を再開できた道場もありましたが、ごく限られた数に留まっています。

USAFは会員のためにシニア指導者のオンライン稽古を提供し続けており、これらのオンラインクラスは多くの場合インターネットに合気道コミュニティに提供されています。他の連盟も会員のため、同様の支援活動を行っています。

道場が直面している最も深刻な問題は財政に関するものです。米国の道場は民間団体であり、政府より支援を受けることがほとんどありません。感染への恐怖による稽古中断と会員の稽古復帰への躊躇は、財政的な危機を多くの道場(中には長年活動し続けてきた道場もある)にもたらしました。収入減少により閉鎖を余儀なくされている道場の数は増加しています。道場がないような状況では、オンライン稽古、または天気の良い時の屋外での稽古であれば続けられるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染拡大が続いているため、先行きは不確かなものとなっています。

このような問題が存在している一方、多くの合気道修業者の精神は健在です。彼らは、対面の稽古であれば、国際合気道連盟が提供しているオンライン講座や講習会を通じてあれ、稽古に励んでいます。今できる新しい稽古法を合わせながら、合気道はこの困難を乗り越えるべきと信じています。

## 戦後秘話 ③



吉祥丸二代道主が語る

生き残ったとはいうものの、私にとつての本当の苦闘はむしろ終戦からはじまったような気がします。加えて、進駐軍指令や軍国主義の反動により、武道は何でもかんでも駄目だという、日本内外の風当たりが強さも想像以上に厳しいものがありました。

ただこうした局面で、合気道に幸いした点も、岩間が父の先見性には、私も脱帽いたしました。合気道に関する社会的基盤はここぞと、それから約2年岩間の父のもとへ移管され、このことからの合気道発展を考えたおりにくつかの利点をもちました。

学生時代を本部道場の死守で終えた私は、久しぶりで父母と岩間で再会し、日常生活をともにいたしましたが、その個人的な感慨はさておき、たとえば東京であればアメリカの進駐軍に遠慮して、公然とおこなうにくくなった合気道の稽古が、岩間では存分に続けられることができました。食糧も豊かです。都会では満足できるものが食べられない時代でした。

父は満面に笑みを浮かべ、「おう、よう生きて帰ってきたのう」と、抱き寄せんばかりにしてくれらるる迎えたのです。そうした人々の中から、「ぜひ、合気道を甦らせてください」と、切願する声が、自然と聞こえてきます。岩間の父の元にも、新しく稽古をはじめた人も何人かいました。私は2年間ほど東京と岩間を行ったり来たりしました。

終戦直後のこの時期、合気道を天職としてやっていたと考へた人は、まずいなかったはず。しかし、私には開祖の弟子としての立場がついてまわりました。かつての弟子や関係者はかりでなく、新たに入りはじめた若い人々からもはっぱをかけられ、私はこれば自らの宿命だと思ひ切り、合気道復興の決意を致しました。

「よし、やるからには、武道界の先陣をきって、再興の旗をふってやろう」ふしぎに、情熱が湧いてきました。

そのためには、山積する課題や難題を解決しなければなりません。稽古は即結果というわけにはいきません。非常に地道なもので、昔から伝わってきたものをきちっと積み重ねなければなりません。一方合気道をするための環境というものは日々速くなっていきます。それに対応していかなければならない合気道が素晴らしくとも社会の中から取り残されてしまふのです。合気会の職員並びに各道場・団体の方々が協力しあい、連携していくことが必要だと思います。

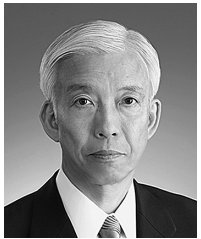
道主として日々の稽古をしっかりと行い、会員を大切に、指導者たちが各々地域でしっかり指導を行えるよう気配りすることが務めだと思っています。理事

とどまり、稽古再開の条件としてマスク着用と消毒を厳格に行うことが求められました。多くの道場ではオンライン稽古が継続されている状況となっています。複数の合気道連盟より道場への支援活動が行われています。例として、United States Aikido Federation(アメリカ合衆国合気道連盟、以下USAF)は、それぞれの道場の道場長のために下記の内容に関するオンライン会議や情報提供を行っています。

・稽古再開に関する規約  
・会員の昇級・段審査  
・政府の補助金申請関連  
・オンライン講座  
・その他の問題に関して

道場が直面している最も深刻な問題は財政に関するものです。米国の道場は民間団体であり、政府より支援を受けることがほとんどありません。感染への恐怖による稽古中断と会員の稽古復帰への躊躇は、財政的な危機を多くの道場(中には長年活動し続けてきた道場もある)にもたらしました。収入減少により閉鎖を余儀なくされている道場の数は増加しています。道場がないような状況では、オンライン稽古、または天気の良い時の屋外での稽古であれば続けられるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染拡大が続いているため、先行きは不確かなものとなっています。

## 道主回想 ③



道主としての思いは?

やはり良いものは残ると思っています。そのためには我々は少しでも多くの方々に理解していただくこと一生涯懸命努力しているのですから。

今後は合気道とはどういうものかというイメージがもっと一般の方々に広がるいいと思っています。昨日、世界の多くの国に

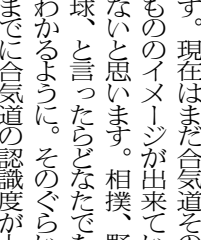
おいて、多くの方が合気道を稽古されるようになっており、海外に対して合気会の枠だけでなく指導者を派遣、普及するなど広範囲に渡ってきています。

稽古は即結果というわけにはいきません。非常に地道なもので、昔から伝わってきたものをきちっと積み重ねなければなりません。一方合気道をするための環境というものは日々速くなっていきます。それに対応していかなければならない合気道が素晴らしくとも社会の中から取り残されてしまふのです。合気会の職員並びに各道場・団体の方々が協力しあい、連携していくことが必要だと思います。

道主として日々の稽古をしっかりと行い、会員を大切に、指導者たちが各々地域でしっかり指導を行えるよう気配りすることが務めだと思っています。理事

USAFは会員のためにシニア指導者のオンライン稽古を提供し続けており、これらのオンラインクラスは多くの場合インターネットに合気道コミュニティに提供されています。他の連盟も会員のため、同様の支援活動を行っています。

道場が直面している最も深刻な問題は財政に関するものです。米国の道場は民間団体であり、政府より支援を受けることがほとんどありません。感染への恐怖による稽古中断と会員の稽古復帰への躊躇は、財政的な危機を多くの道場(中には長年活動し続けてきた道場もある)にもたらしました。収入減少により閉鎖を余儀なくされている道場の数は増加しています。道場がないような状況では、オンライン稽古、または天気の良い時の屋外での稽古であれば続けられるかもしれませんが、新型コロナウイルス感染拡大が続いているため、先行きは不確かなものとなっています。



道主としての思いは?

やはり良いものは残ると思っています。そのためには我々は少しでも多くの方々に理解していただくこと一生涯懸命努力しているのですから。

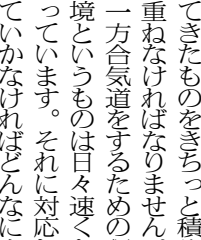
今後は合気道とはどういうものかというイメージがもっと一般の方々に広がるいいと思っています。昨日、世界の多くの国に

おいて、多くの方が合気道を稽古されるようになっており、海外に対して合気会の枠だけでなく指導者を派遣、普及するなど広範囲に渡ってきています。

稽古は即結果というわけにはいきません。非常に地道なもので、昔から伝わってきたものをきちっと積み重ねなければなりません。一方合気道をするための環境というものは日々速くなっていきます。それに対応していかなければならない合気道が素晴らしくとも社会の中から取り残されてしまふのです。合気会の職員並びに各道場・団体の方々が協力しあい、連携していくことが必要だと思います。

道主として日々の稽古をしっかりと行い、会員を大切に、指導者たちが各々地域でしっかり指導を行えるよう気配りすることが務めだと思っています。理事

USAFは会員のためにシニア指導者のオンライン稽古を提供し続けており、これらのオンラインクラスは多くの場合インターネットに合気道コミュニティに提供されています。他の連盟も会員のため、同様の支援活動を行っています。



道主としての思いは?

やはり良いものは残ると思っています。そのためには我々は少しでも多くの方々に理解していただくこと一生涯懸命努力しているのですから。

今後は合気道とはどういうものかというイメージがもっと一般の方々に広がるいいと思っています。昨日、世界の多くの国に

おいて、多くの方が合気道を稽古されるようになっており、海外に対して合気会の枠だけでなく指導者を派遣、普及するなど広範囲に渡ってきています。

稽古は即結果というわけにはいきません。非常に地道なもので、昔から伝わってきたものをきちっと積み重ねなければなりません。一方合気道をするための環境というものは日々速くなっていきます。それに対応していかなければならない合気道が素晴らしくとも社会の中から取り残されてしまふのです。合気会の職員並びに各道場・団体の方々が協力しあい、連携していくことが必要だと思います。

道主として日々の稽古をしっかりと行い、会員を大切に、指導者たちが各々地域でしっかり指導を行えるよう気配りすることが務めだと思っています。理事

# 各道場の昇段者

令和2年6月15日～  
令和2年8月14日  
(公財)合気会登録

## 【四段】

◆合気道瀧田塾＝竹中友美◆合気道洗心館＝島田政次◆大阪武育会＝武村二三夫◆大塚道場明道館＝和田恆明◆城北道友会＝峯村栄憲◆藤枝合気会＝中村雄司◆杉並合気会＝T.Kikos◆BRAZIL＝ナポリタノ・ディアズ・レアンドロ◆ARGENTINA＝D.Vega◆NETHERLANDS＝G.Kruit, D.Herbretau◆U.S.A.＝J.Deweese, S.Miller◆BULGARIA＝S.Kakaliagos, T.Doskov, A.Simeonov◆BELGIUM＝H.Berneck, J.Defauw◆RUSSIA＝E.Kosolapov◆UKRAINE＝V.Hmirov

## 【参段】

◆本部道場＝篠原直子◆茨城県合気道連盟＝早乙女金司◆合心館谷本会＝西岡輝夫◆自由が丘道場＝安達久仁雄、寺町健也◆城北道友会＝前田浩、長澤宏明、吉岡祥一◆合気道翔道会＝鈴木みの理◆くさなぎ道場＝波塚少太郎◆愛媛大学＝穂坂太郎◆U.S.A.＝M.Laronge, K.Cunningham, J.Gralton, A.Smith, J.Hyde, R.Humphreys, T.Suzuki, S.Stein◆ARGENTINA＝J.Bittar, J.Salcedo, G.Breglia, J.Corrall, L.Pintos, C.Aroca, B.Phouminoradeth◆RUSSIA＝A.Melkov, A.Karchava, D.Kantemirova◆FINLAND＝T.Huhtala, T.Glasgow, J.Henriksson, M.Kankaanpaa◆AUSTRALIA＝G.Hadden, S.Yuen◆BULGARIA＝Y.Ivanova, G.Bostandzhiev, C.Panagiotis◆BELGIUM＝A.Horvath◆GERMANY＝T.Sullivan◆MAURITIUS＝S.Latchmea

## 【貳段】

◆茨城支部道場＝宍戸肇◆諏訪道場＝金宮瑤廣◆A & P合気道空(KU)の会＝砂生陽彦◆多賀城合気道道場＝長谷川香織◆市原合気

会＝栄彩花◆合気道千葉千種道場＝S.Hashemi◆大阪武育会＝O.Dagli◆光輝会＝綿井英吏子◆奄美市合気道連盟＝本田卓士◆紀州熊野合気会＝J.Balasz◆愛媛大学＝井上結理、久賀真琴、森原大貴◆東海大学＝矢崎優一◆鹿児島大学医学部歯学部合気道道場＝芝将汰、有馬健斗◆U.S.A.＝K.Carswell, R.Facer, K.Ancowitz, G.Colon, K.Haftorson, D.Francoeur, M.Lynch, C.Lopez, 奥村節子, K.Kim◆RUSSIA＝P.Dubrovsky, D.Putsev, K.Shchinov, E.Kurova, A.Fedorov, V.Malinovskii, A.Khutinaev, Y.Prishchepa, P.Pudovinnikov◆ISRAEL＝G.Levin, B.Ritter, R.Peretz◆UKRAINE＝R.Pokotylo, A.Stepanenko◆DENMARK＝D.Andersen◆FRANCE＝S.Billoet◆FINLAND＝M.Kurkela◆ARGENTINA＝F.Tomaso, J.Casaro, G.Rapela, D.Quinonez, E.Moukarzel, R.Medina, M.Gebrikian, C.Sanchez, F.Britos, P.Battista◆SERBIA＝K.Vasovic, S.Sanja, K.Horvat◆NETHERLANDS＝U.Gruen◆AUSTRALIA＝N.Spilsbury◆BULGARIA＝N.Ciric, K.Seget, G.Choina, D.Katz, J.Norwoods, E.Rose◆BELGIUM＝J.Limpens, T.Blesin, V.Lawrence, E.Oliva◆MAURITIUS＝S.Latchmea◆SPAIN＝J.Gasco◆LEBANON＝A.Saikaly, A.Saliba◆SINGAPORE＝N.Han, T.Ming, B.Lim, 趙丹玲

## 【初段】

◆本部道場＝上西浩一、篠塚友三郎、老浪和也、J.Lopez◆東急セミナーBE青葉台＝阿部立幹、綿井大樹、川田紬生◆青森道場＝中川悟、八戸慎幸◆山口合気会萩道場＝幸紗穂、幸莉穂◆青山会＝岩

城知子◆水龍館＝水野潔◆小林道場＝S.Egorov, K.Galko, A.Arkipov, V.Formazonov, V.Lekomtsev◆杉並合気会＝R.Wills, D.Le, B.Lopez, P.Dulin, I.Powell, T.Tran◆J1合気会＝一戸竜司、益子理那、松川愛知◆習錬館道場＝曾瀨玉、ソディアエ・エルハジ◆高知県庁合気道部＝永野勝夫◆合気道武友会＝卯月優子◆尚武館＝小林弘昌、樋口太仁、西尾碧莞◆草加竹内合気道会＝目黒稔浩◆大阪合気会＝古林喜久夫◆大阪武育会＝池田公紀、小林玄、高岡樹、土屋郁◆秋田県立武道館道場＝吉田憲正◆日野合気会明翔＝石塚武司◆城北道友会＝高島新吾◆円悠会＝嶋本輝秋、山路猛斗、東諒芽◆合気道清水塾＝沖川昌太郎◆パシフィック合気道B S T支部＝R.Soni◆長谷川道場＝安川侑仁兜、浜田悠之、渡邊倫生、林田晃典、森虎太郎◆丹波道友会福知山道場＝岸上哲也◆井蛙塾＝川合啓太◆鳥取合気会＝市村優至、市村智美、土橋和彦◆合気道津子供教室＝西口昌孝◆四天王寺高等学校＝國分愛由、権裕華、宮島渚、廣田朱音、林純可、西村理苒、中口愛友里、十島幸恵、高松奈央、坂上佑佳、酒井志緒、小谷奈々、清島紗羅、沖田愛珠◆東筑紫学園高等学校合気道部＝吉崎優希、桑原凜◆専修大学松戸高等学校＝下川真悠子、金尾純令、中村真慈、小林野乃、前田百花◆明德義塾高等学校合気道部＝藩楠、沙字成、張雁博◆帝塚山大学＝康富貴太郎、染田大輝◆愛媛大学医学部＝井上潮音、曾我部陽太、西川直希◆近畿大学医学部＝野原佑介、北村光司、田戸健太◆愛媛大学＝下條一、豊田拓海、西坂謙吾、西村友花、野上悠斗◆関西学院大学体育会合気道部＝本木智裕◆神戸大学体育会合気道部＝谷川貴洋、田所晃汰、杉山巧、白武希深、中井香里、中野巴、H.Andrei、山田杏樹、吉田陽◆帝

塚山学院大学＝吉田真美子、石川凌◆明治薬科大学合気道部＝原田知奈津◆U.S.A.＝N.Puertollano, M.Burity, A.Baillieul, D.Jackson, C.Swan, D.Hodges, M.Black, E.Rueda, E.Rodriguez, Y.Montelongo, J.Marin, T.Fossland, J.Prives, W.Zezelic, D.Barrett, A.Jacobs, B.Bissram, J.Plunkett, J.Freund◆DENMARK＝A.Hinsby◆FRANCE＝E.Navereau, E.Brideau, J.Bernard◆ISRAEL＝Y.Engel, N.Salamon◆FINLAND＝A.Seuna, O.Simora, R.Ahonen, M.Laiho◆ARGENTINA＝J.Rios◆TURKEY＝D.Ergin◆RUSSIA＝S.Ponomarev, D.Kilin, P.Savin, S.Vasilchenko, L.Lyushnin, D.Nebolsin, M.Slavina, E.Nigmatulina, M.Shuvalova, I.Vasilieva, V.Stepanov, N.Privalov, I.Pavlyuchenkov, A.Piskulin, Y.Dokuchaev, N.Podanev, A.Volkov, P.Vorobev, V.Shekihachev, B.Yagodkin, K.Yagodkin, E.Kastueva, A.Andreev, V.Tyszkiewicz, Y.Lyutov, V.Pletnev, G.Khubulov, A.Dobrovolskiy◆NETHERLANDS＝S.Benci, L.Boer, I.Kamp, D.Mammeri, S.Stormbroek, A.Torsius, S.Vicinzino◆MONTENEGRO＝P.Popadic, N.Dragojevic, N.Milacic, N.Radevic◆BULGARIA＝M.Blageva, G.Dysico, M.Grotha, N.Konatinos, T.Nenov, D.Pavlov, K.Pranogov, M.Urosevic, E.Virden◆SWITZERLAND＝S.Knaus◆BELGIUM＝E.Hankard, S.Oliva, I.Guerchafft, T.Durant◆UKRAINE＝Y.Kuzymensky, E.Zotov, P.Kuzmichov◆ROMANIA＝T.Pricolici◆MAURITIUS＝H.Modaliar◆LEBANON＝A.Saliba, R.Abdallah, N.Khattar, A.Hajj, F.Hakim, H.Chames, E.Karkafi, J.Charkawi, C.Hilal◆SINGAPORE＝Y.Reynard, L.Richard, 卓文毅

## 国際合気道連盟 理事から現況報告



神谷 正一  
理事(日本)

新型コロナウイルスの感染拡大によって、世界中にその災禍が広がっています。日本国内の合気道の稽古の場にも多くの影響が出ています。

3月中旬には公共の体育館や武道館、あるいは小・中学校の体育館等の利用が、感染拡大防止のために禁止され、そういった施設での稽古は全て中止となりました。8月に入ってもまだ施設利用が認められず、稽古を再開出来ない団体も数多くあるようです。

このような厳しい稽古環境の中、一部の団体では、

「I」等のオンライン会議機能を活用したり、モーターの稽古を始め、工夫しながら続けています。また、幸いにも施設の利用が可能となり稽古を再開した団体では、稽古前には体温測定と手指消毒が行われ、稽古中はマスクを着用し、受けと取りとが組んで行う対人稽古の時間を減らして単独動作の稽古に時間を割くような、感染防止に配慮した稽古が行われています。



貞國 鎮  
IAFF財務総長(日本)

新型コロナウイルスのパンデミックで合気道を日夜稽古される会員の方々は大変なことと思います。新型コロナウイルス感染拡大は短期間では解決しそうですね。しかし、皆様の知恵で解決していかねばならないと思います。新しい生活様式による新しい合気道のあり方を考える必要があるのだと思います。新しい合気道がどの様なものになるのかわかりませんが、世界中の合気道愛好者で見出していくべき問題だと思えます。

## 合気道探求60号好評発売中

巻頭特集 6月1日、本部道場、稽古再開  
特別企画 全日本合気道演武大会の歴史  
道主巻頭言 乗り越えた先に  
道主 特別座談会 世界140の国と地域に広がる合気道

過去・現在、そして未来への展望

特別企画 植芝守史道主が語る 合気道のこころ

特集 指導者候補講習会詳細レポート

誌上講習会 半身半立ち両手取り四方投げ

師範の横顔 小川良紘(合気道滋賀本部長)

鷹羽保夫(名古屋合気会天府初心塾代

表)合気道人生 高瀬信夫(合気道神流館会長)

中学校武道授業 合気道で学校は変わる

特別企画 室内でできる鍛錬法

特別寄稿 開祖・植芝盛平翁の愛読書「古事記」を

紐解く

福田保氏(武産浦帆道場長) 8月28日逝去。享年89